

# 不祥事根絶のための行動計画

三原市立北方小学校  
作成責任者 校長 小林 敦子

私たちは、子どもの手本となり、信頼される行動をします。  
 《使命》 私たちは、子どもたちを守り、育てます。  
 《遵法》 私たちは、法令を遵守します。  
 《公正》 私たちは、不祥事を許しません。

区分	本校の課題	行動目標	取組内容	点検方法・時期
教職員の規範意識の確立	<ul style="list-style-type: none"> <li>○サービス研修内容や資料のパターン化が見られるため、当事者意識の高まりに課題が見られる。</li> <li>○机上の整理整頓を意識して行っていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○計画的なサービス研修と共に新聞記事等を使ったタイムリーな研修を実施するなど、研修の方法や内容等を見直す。</li> <li>○常に整理整頓を心がけるようにする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○研修資料の準備や研修形態の工夫をしながら改善していく。</li> <li>○毎週末には、机上をチェックしてから退校する。また、チェックリストで自分を振り返る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学期に1回、委員会でサービス研修内容についての協議を行う。</li> <li>○月1回のチェックリストを実施する</li> </ul>
学校組織としての不祥事防止体制の確立	<ul style="list-style-type: none"> <li>○不祥事防止に向け、互いに指摘し合う関係を更に高める必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教職員同士のコミュニケーションをさらに促進し、お互い声かけを行い、気付いたことを指摘し合う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○毎月の不祥事防止委員会の中で、研修についてだけでなく、気になることなどの情報交換を行う。</li> <li>○毎日管理職が校内巡回を行う。また、定期的に面談を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○月1回の委員会で情報交換を行い、状況把握をする。</li> <li>○管理職による面談を学期1回以上行う。</li> </ul>
相談体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>○体罰、セクシュアル・ハラスメント相談窓口の周知は行っているが、認知度は低い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「体罰、セクシュアル・ハラスメント相談窓口」の周知を繰り返し行い、相談しやすい体制をつくる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校・学級だより等において、相談窓口の案内をする。また懇談会等で、保護者から体罰、セクハラについて聴取する。</li> <li>○児童、保護者及び本校教職員を対象にアンケートを実施し、実態を把握する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学期毎に児童、保護者及び本校教職員を対象にアンケートを実施する。</li> </ul>